

アマダイ通信NO. 102

(Tile fish network letter)

2014年ノウゼンカズラ咲く

知人・友人各位

外ではアフリカや中東で戦闘やテロが治まらず、内では安倍首相が、内閣の決議で自衛隊の海外派兵と戦闘に道を開き、中国・韓国との軋轢も止まない。7月の三鷹クラブの講演会は集团的自衛権行使の積極論者である佐瀬防衛大学名誉教授にお願い、9月は程永華駐日中国大使に話して貰います。立場は違っても、お互いの主張に耳を傾け、理解する必要があります。読者の皆様の参加を歓迎します。三鷹クラブは開かれた組織です。

◎消えゆく母校、そして故郷

少子高齢化が叫ばれて久しいが、最近、増田元岩手県知事・総務大臣が、少子化で消滅が危惧される自治体を具体的に列挙したことで、あらためて大きな関心呼び、故郷秋田県は消滅自治体の数の多さで筆頭に挙げられた。その秋田の最果て、日本海沿いの最北の集落岩館、昭和34年卒業の村立岩館小学校の同級生は40人で、それは又、同期生でもあった。翌年は60人が入学、1学年が2クラスとなった。昭和の大合併の時、日本海沿いに連なる3町村が合併、岩館村は消滅、旧3町村にあった三つの小学校が最近一つに統合され、岩館小学校もなくなった。昭和の大合併段階で一つに統合された中学校への最近の入学者は毎年十数人。平成の大合併で八森町はなくなって、隣の峰浜村と合併、八峰町となった。八森中学校もいずれ統合されてなくなるか？🐟の入学時の八森中学校は50人学級で4クラス。この半世紀で進んだ地方の過疎化・少子化の激しさがわかる。

地方で大量生産された若年労働力が、中学卒業と同時に集団就職で都市部に集められ、規格大量生産の工場労働力として、「金の卵」と呼ばれ、日本経済の高度成長をその基礎で支えた。しかし、その30人に最初の職場で勤労人生を終えた者はほとんどいない。「金の卵」は使用する側のとらえ方でしかなく、安い労働力として、今の中国と同じように、「世界の工場」で、規格品を安価に大量生産する、勃興する日本資本の利潤の源泉でしかなかった。当然、使われる側も有利な職場を求めて移り歩く。

万歳三唱で集団就職組を見送った岩館小学校の同期生10人が高校に進学、その内の3人、旅館の重雄君と魚屋の百合ちゃん、郵便局の革ちゃんが大学に進む。高級管理職として、エリートサラリーマンの役割を期待された郵便局の革ちゃんこと🐟は、毎日鉄板の上で焼かれて嫌になった「たい焼き」君の様に、当たり前のこととと思っていた日常が続くことにある日耐えられなくなり、国境も階級もない、資本家と労働者の対立もない世界を創るといふ、「資本論」を書いたマルクス先生の入門編、「共産党宣言」を読み、自由の海に逃げようとする。が、マルクス先生の語る「千年王国」、自由の海への道筋が解らないまま、店の脇の側溝で泳いでいる所を捕まり、鉄板の上に戻されてしまう。

◎衣食足りて礼節を知る！資本主義？

中国で、ウクライナで、中東、アフリカで、そしてタイで、キナ臭い事件や戦乱が続く。

貧困、格差、抑圧が続く限り、混乱は続く。敗戦直後に生まれ、戦後と共に成長して来た、食べるのにさえ事欠く貧しい日本が、ここまで豊かになったのに目を見張る。今や日本は礼儀正しく、安全で安心、便利な国として世界から評価されるが、半世紀かかって実現した経済成長の賜物。まさに彼の国の諺にある如く、衣食足って礼節を知るである。冷戦体制下の限定されたものとは言え、平和な状態が半世紀以上続き、国民が一丸となって経済復興に専念出来たことが大きい。何より、平和と民主主義が大事だ。

かつて東大全共闘と全国の学友が立て籠り、日本最後の革命運動への決起を呼び掛けた東大安田講堂が、大改修中だ。が寝泊まりした部屋からは、その名も「突撃一番」というコンドームが大量にみつかった。大学が学徒動員で出動する学生に持たせた物だ。第二次安倍内閣は自衛隊の海外派兵、海外での戦闘を可能にしようと急ぐが、若い国民にコンドームを持たせて海外派兵するようなことは、二度とすべきではない。

5月の連休に半年ぶりに国境を越え、モンゴルの首都ウランバートルに初飛行。帰国後、7チャンネルでウランバートルの懐かしい風景を見る。群馬の農業生産法人が、ジャガイモ、人参、玉ねぎしか野菜が出来ず、遠路中国から鮮度の落ちた、農薬漬けの野菜や果物を輸入するモンゴルで、日本式の温室農業を始め、新鮮で安全、安心、美味しい野菜の供給を始めたという。ウランバートルのモンゴルしゃぶしゃぶ屋で、モヤシ、椎茸、ほうれん草などの新鮮な野菜もたっぷり味わった。政治頼み、補助金頼みの米作と違った、もう一つの戦後日本農業の数珠の結晶か？中国産の倍の値段でも売れるという。水不足のモンゴルで農業用水の確保は大変だが、モンゴルでも平和が続き、新鮮で安全・安心、美味しい野菜や果物を味わって貰い、モンゴルの経済発展にも寄与出来ると素晴らしい。

衣食足りてこそその礼節、平和あってこそその衣食。これこそ世界が日本に望む一番の国際貢献ではないか？衣食足りた礼節世界が実現した時、人間が変わることで、常にフロンティアを求め、自己増殖を図る強欲資本主義も、世界から消えないか？今や先進国の経済は低成長を続け、低金利で行き場を失った金は世界中を徘徊、バブルを繰り返しては破裂、格差と混乱を拡大する。限りある資源を暴食、競争を煽り、ひたすら成長を、高利潤を求め、格差を拡大、人と社会にストレスを強いる資本主義の限界か？「足るを知る」経済システムを、次代の人々はなんと呼ぶのだろうか？

◎ヒマラヤがなかったら・・・モンスーンアジアと乾燥アジア

高温の南の海から立ち上った水蒸気は上空で冷され、厚い雨雲となり北上、ヒマラヤの壁に阻まれ、偏西風に乗り東に向かう。モンスーンアジアにスコールを降らせ、ヒマラヤの山々を白く化粧させ、水分を再度洋上で補い、日本を雨雲で覆う。ヒマラヤ山脈がなければ日本のジメジメした不快な梅雨もなく、快適に過ごせるかも知れない。

だがヒマラヤ以北の乾いた大地での生活を考えてみれば、梅雨のない日本は果たして幸せか？年間降水量 200mm の半砂漠の草原で羊や山羊を追い、米はおろか麦も栽培出来ず、ご飯もパンも、うどんやラーメンすら口に出来ず、乳製品や肉を主食とする。薪さえ貴重であれば、牛糞を拾いストーブに放り込んで暖をとり、煮炊きもする。水は遠い泉から運び、風呂には入らない。日本人には想像し難い生活だが、ヒマラヤの向こうの世界の現実だ。その多くを中国が占める。

高い脊嶺山脈を持ち、四界を海に囲まれ、冬の降雪、夏の梅雨と台風で水に恵まれるが、

穀物や果物、木材という形で世界中から大量に水を輸入する。日本より国土が狭く、労働コストが高いオランダが、世界で二番目の農産物輸出国なのだから、日本も減反など止めて、耕地をやる気のある農家に集約し大規模化、生産性を上げて輸出を増やし、乾いたアジアの水不足に貢献したいものだ。何故か農業新聞の編集部からメールマガジンが送られて来て、日本農業の最先端の情報を垣間見るが、日本農業も変わりつつある。

森林被覆率が70%と世界一の林業についても同じことが言える。ここでもオーストリアというお手本がある。日本より小さい面積と人口、しかも森林被覆率50%以下で、日本以上の山岳国家だが、年間5百万立米以上（日本の50倍！）の林産品を輸出する。インドネシアやロシアの、丸太での木材輸出の禁止もあるが、国内の林産地で針葉樹合板の製造が盛んになりつつあるというが、まだまだ可能性がある。広大な排他的経済水域を持つ水産業も然り。豊富な「水」を有効利用、産業化することで、自国経済、とりわけ地方の生活を豊かにし、世界に貢献することが出来るのではないだろうか？

◎ドコモでドキドキ！ガラ携と心中？・・・amadai1号は死にました！

スマホの予行演習にと、意を決して買ったタブレット。検索するだけなら事務所にも家にもパソコンがあるので使わない。使わないから使えない。それでもガラ携2台と使わないタブレットに、併せて毎月1万6千円もドコモに払う。ドコモショップで相談。6月から料金体系も変わり、0円でスマホに替え、タブレットとスマホでパケットを分け合い、残りのガラ携を通話なしにすれば、今月の使い方でも料金は2千円ほど安くなるという。5ギガというのはなんですか？と尋ねるとデータ通信の容量だという。メールと検索しか使わないのにそんなに必要？と聞くと、2ギガなら更に安く1万2千円で済むという。再度ドコモ娘の甘い言葉に誘われ、片方のガラ携をiPhoneに替える。

手続きを終え、取り敢えずメールをと、サインを押すが、移して貰ったアドレス帳は出て来ず、「ようこそメールへ」という文字の下に、iCloud、Exchange、Googleなどの横文字が並ぶ。どうするんですか？ドコモ嬢に聞く。iPhoneの使用法についてはドコモでは教えられないことになっています、アップルストアにお出かけ下さい、とにべもない。一回きりの初期設定、やってくれたっていいじゃない？と思うが如何ともし難い。使えないんじゃ、amadai1号は死んだ様なもの。いずれ皆スマホに変わるなんて考えて替えるんじやなかった、ガラ携と一緒に人生を終えるんだった！と深く反省。使えないタブレットとスマホの料金を払い続けたまま、残された一台のガラ携と●は心中することになるのか？

「心なくも心中の道行きとなったamadai1号は仮死状態です。御用とお急ぎの方は取り敢えず、amadai2号にご連絡下さい。電話番号は08019820743です。通じない場合は●事務所にご連絡下さい。ブルブルと●を刺激、心臓マッサージして、仮死状態からamadai1号を早く蘇生させてやろうと言う、乳母心と時間のある方はamadai1号にお願いします！」と、迷惑を掛けそうな相手方にはメール専用となったamadai2号から携帯メール。翌日事務所に出ると、幸いなことにアシスタントがiPhoneを使っている。Softbankでは初期設定してくれましたよ！というアシスタントに早速メールの初期設定をして貰い、簡単に使用法を教わる。Amada1号は通話も上手く出来ず。2号はメールのみの設定で、3組取った、大雨予報の日曜日のゴルフの連絡で、土曜の夜から日曜の朝にかけ四苦八苦。

◎竹槍？ゲバ棒？で都庁に突撃・予算措置の要らない防災対策を！

都知事選後の臨時都議会が終わり、舛添事務所に連絡。予算措置の要らない震災対策として、都条例の新規井戸掘り禁止条項に例外規定を加え、人工透析をする等の地域の災害拠点病院、震災時に帰宅困難者を収容する大型のビルや商業施設、大学や公共施設等については井戸掘りを許可、浄化設備を設け、水源を二重化、事業継続性を高めるべきと、都庁の知事室で福嶋都知事特別秘書に提案。総務局防災部長とも打ち合わせ。

翌週、環境局の総務部長とも会う。環境局としても震災時の井戸の必要性、特に水が欠かせない人工透析患者対策としての専用水道の必要性は認識している。ただ規制は都条例で区に任されており、規制の緩和については議会の承認が必要だ。下町では井戸水の工業用水としての過剰汲み上げによる地盤沈下の問題が悪いイメージとして残り、井戸と言っただけで反発する議員もいて、ここ数年の内に対応するのは難しいとのこと。

「裸の王様」のように誰も声を上げないので、竹槍？ゲバ棒？で都庁に突撃！「予算措置の要らない震災対策」を提案。一介の素浪人が突っ込むのではなく、震災時に重要な役割を果たす災害拠点病院を会員に持つ病院協会や、帰宅困難者を収容する大型ビルの業界、鉄道事業者等が、震災時に水道が止まっても他に水源がないのでは、入院患者に給食も人工透析も出来ない、怪我人が運ばれて来ても手術も出来ない、帰宅困難者が殺到してもトイレは流せずてんこ盛り、悪臭充満、衛生環境が悪化しますと、大声を上げるべきなのだ。

三鷹寮1年後輩の舛添知事も、秋には防災対策を提案するという。地下水位大は幅上昇中なのに地盤沈下を理由に井戸掘り原則禁止の都条例。災害拠点病院や帰宅困難者を収容するビル等は井戸を掘って水源を二重に出来ると、都民と東京で働く人々、オリンピックで来日する世界の人々のために改正すれば、知事の大功績として評価されるに違いない。

◎サラ・オレイン、テレ朝「関ジャニの仕分け∞」で2連勝

バラエティ番組は殆ど見ず、従って May J.も、アナと雪の女王、海猿やシェネル等も全く知らないのだが、シドニー大学から東大への交換留学生、三鷹寮出身の歌娘サラが、「テレ朝関ジャニの仕分け∞」に出演、26連勝中の May J.を破り、次は海猿の主題歌を歌ったシェネル本人と彼女の持ち曲で勝負するとあれば、バラエティを見ない訳に行かない。

モンゴルツアー中で見れなかったが、5月3日のテレビ朝日の関ジャニの仕分けで、アナと雪の女王の主題歌の May J.を破って泣かせ、5月24日のテレ朝関ジャニの仕分け∞に「May J.を破った新星サラ・オレインの実力は本物か？カラオケ2番勝負」というタイトルで出演するが、「ものすごいプレッシャーですね。なんとブロードウェイの歌手と『アナと雪の女王』の Let It Go で対決。その後映画海猿の主題歌を歌ったシェネル本人と彼女の持ち曲での勝負です」とメールをくれたサラ。2人も破ってしまう。

二週勝ち続けた、関ジャニ効果か、「Fantasy on Ice 2014」アイスショーで、ソチオリンピック金メダリスト羽生結弦他、世界一流のフィギュアスケート選手達との共演が決定 (http://www.nsttv.com/event_info/fantasyonice/skater.php)、スケートが大好きで、夢の共演に興奮しているという。アルバムも Billboard JAPAN Top Classical Albums で1位に (<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20140604-00020353-exp-musi>)。現在は 2nd アルバムの制作中。8月末にリリースされる予定で、テレ朝の関ジャニの仕分けにも又、出演するという。読者の皆さんも、わが唄娘サラの天使の歌声を楽しみ、応援して下さい！

◎の極東ロシア紀行（クラブツーリズム、ウラジオストク・ハバロフスクとシベリア鉄道3日間、2013・9・21～23）（下）

④ロシア人はメードインジャパンが好き

APECの会場となった、半島の先に位置するルースキー島に、これも新しく造られた長い斜長橋を通過して渡る。市内の四つの大学を統合して新しく造られ、APECの会場となり、その時の宿舎が学生寮として使われている極東連邦大学も見学。警備が厳しく、中には入れない。シベリア鉄道の始発駅にはホームまで自由にに入れるのに、ちぐはぐ。厳しい警備で大学が守ろうとするものは何か？自由に出入りできる日本の大学と比べてしまう。APECの時は問題がなかったが、建物は今、雨漏りするなど、大変だという。工期の遅れと工事品質、来年のソチ冬季五輪が心配だと、ここでも参加者の声。

ガイドのイワンによれば大学進学率は70%で、大卒初任給は月五万円、サラリーマンの月給は平均8万円。2、3割が水光熱費、半分が家賃で消え、生活は楽でない。大学院生のイワンは結婚していて、都心の家賃9万円のアパートに住み、ガイドや通訳の収入があるので、ギリギリの生活ではないが、独立生活が出来ず、親のアパートで同居する若者が多い。見切りをつけモスクワやペテルブルグなどに移住する若者も多い。シベリア鉄道で一週間かかるモスクワに、飛行機で行くと往復3万ルーブル（9万円）。東京だと往復1万8千ルーブル（5万4千円）で行けるので、若者には人気だ。27才までの成年男子には1年の兵役義務があるが、ソ連崩壊後の混乱と給料の遅配等で規律が低下、いじめが横行、問題になっている。26才のイワンも徴兵の可能性があり、その時は専攻の関係で情報機関に配属されるだろうが、退役しても数年間外国に出られなくなるので、困るという。

かつては車と言えば日本の中古車だったが、国民の強い反対にも拘わらず、中古車に高額の間接税がかけられ、新車が多くなった。それもほとんど日本車で、日本車への信頼は高い。だがガソリンは不純物が多く、寿命を短くしているという。極東ロシアの平均寿命は男68才、女73才。お土産を買いにスーパーにも寄る。珍しいキュウリチップがお薦めだという。日本のスーパーと似た感じ。「すばやくとけて泡立ちすっきり、アワーズ」とか、「さらっと優しい肌ざわり、ソフト&クリーン」、「ニューホワイト、ミクロの汚れまですっきり落とす」など、日本語やハングルの袋に入った洗剤や柔軟剤、入浴剤が棚に並ぶ。リンゴやバナナ、洋梨などの果物も豊富だが、リンゴは小振り。日本の果物に敵う果物はない。輸出に励めば世界中の果物好きに愛されるだろう。

夕食はビーフストロガノフ。ビーフと炒めご飯が一つ皿に並ぶが、パンも出る。ビール中瓶100ルーブル、ウォッカ1ショット100ルーブル。ビールを水代わりにウォッカを二杯飲みいい気分。シベリア鉄道の個室二段ベッドの上段に寝る。個室の男三人で、昨夜の飲み残しの日本酒をコップ一杯ずつ寝酒するが、振動で何度も目覚める。横揺れより、縦揺れがひどい。緑の地球ネットワークの植樹ツアーで北京―大同間で乗る寝台車や、チベットツアーの天空列車より、乗り心地が悪い。トイレは洋式便器で、翌朝まで綺麗に使われ、トイレトペーパーもついている。水周りは中国よりシベリア鉄道に軍配が上がる。惜しむらくは、手で上に押すと水が出る洗面金具が下に伸び、小さなボウルを洗面器として使えない。濡らした備え付けのタオルで顔を拭く。景色を見る時間も、食堂車で朝食を楽しむ間もなく、ハバロフスク着。これが「一生に一度は乗ってみたいシベリア鉄道」（クラブツーリズム）だとは！金返せ！

⑤溶解するシベリア

粗末なランチボックスを慌てて食べて降りたハバロフスクは、内陸のせいかウラジオストクより少し寒い。ダウンジャケットを羽織る者もいるが、昨日と同じノースリーブのTシャツに半袖シャツ、Gジャン、下もパンツにジーンズで大丈夫。ハバロフスクはアムール川岸に造られた植民都市。15世紀に大航海時代が始まると、ヨーロッパ人は毛皮や金・銀などの資源開発を主な目的として、新旧大陸の北方地域に進出する。ロシア人は16世紀頃からクロテンの毛皮を求め東進、シベリアやカムチャッカ、沿海州地域を制圧、支配して行った。ロシア人によるモンゴロイド系先住民の支配は、農耕には適さず、狩猟や漁労、食物採集によって食料資源を獲得していた先住民の生活と社会を大きく変えて行く。

ハバロフスク駅前には1649年にこの地を訪れ、地名の由来となった探検家ハバロフの銅像が立ち、ウラジオストクより少し多い60数万人が住む極東ロシアの首都を見渡す。極東ロシア最大の教会、スパソ・ブレオ・ブラジェンスキー聖堂は70mの白壁と黄金に輝く玉ねぎ屋根が美しい。教会の広場からは広くゆったりとオホーツク海へと流れ、中国との国境にもなっているアムール川が見える。冬は完全凍結、歩いて向こう岸に渡れるが、片道20分はかかるという。氷に穴を開け、網を入れ、釣り糸を垂れて川魚を捕る。かつては秋になるとアムール川が膨らんで見えるほど白鮭が遡上して来たが、今は見る影もない。肉も美味な蝶鮫も、キャビアを目的にロシア人が乱獲、幻の味のようなのだ。

中央市場へ行く。豚一頭丸ごと手斧で解体され、ブロックに積み重ねられ、薄毛の白い頭が救いを求めるかのようにこちらを見上げる。魚は鮭が多い。シシャモのような小魚も。先住民は鮭の氷頭(ヒズ)、なれずし、煮こごりも食すという。故郷秋田の正月料理、鮭の氷頭ナマスやハタハタ寿司を思い出す。日本の北方の先住民アイヌ由来で、シベリアの先住民に通底する食文化なのか？茸や野菜の漬物、各種惣菜も豊富。肉、魚と夏の野菜は地場の物だという。キャベツ、トマト、玉ねぎ、ピーマンと野菜も揃うが、サンプルを割って見せているジャガイモは小振り、泥のついたまま置かれた人参は可哀想なくらい小さい。リンゴや梨などの果物も小さい。中国ではどこでも、いつでもあるスイカもない。

冬の野菜や洋装品、日用雑貨は中国東北地方から中国人が運ぶ。洋品や日用雑貨は真冬でも屋外のマーケットで中国人が売り、中国語が飛び交う。ここにロシアのプーチン大統領が極東開発を叫び、急ぐ理由があるのか？中心部の狭いアパートが2万ルーブルもし、給料も低いので、若者は大学を卒業するとサンクトペテルブルグなどへ出て行ってしまふ。ロシアの方が稼ぎがいいので中国人が入って来ると、市場で買った好物の野菜と春雨のサラダ入りのビニール袋を手に、若くてスタイル抜群、綺麗で賢い女性ガイドは嘆く。

ソ連崩壊後の人口減少の穴を中国人が埋めるのか？10世紀に北中国を支配した契丹の遼、12世紀に華北まで支配した金、更にモンゴル、清と北の遊牧民による「征服王朝」は宮廷文化に必須の高価なクロテンやギンギツネの産地アムールを支配した。中華帝国からロシア帝国、社会主義から「自由主義」へと支配が代わり、先住民は今どうしているのか？エリツインを引き継ぎ、取り敢えず「核大国」の秩序を回復したプーチンだが、資源依存から脱却して開発独裁を成功させ、ロシア経済を建て直し、溶解する極東を自立・発展させることができるのか？北方領土の四島をどうのこうのと言うより、中国と国境を接するシベリアの発展をどう計るか？がプーチンにとっては何倍も、何十倍も重要だろう。極東ロシア全体から考える、そこに北方領土問題解決の鍵はないか？

⑥レーニンと日本人墓地

ハバロフスク到着 8時半、フライトが 1 時 10 分、2 時間余りの短い市内見学の後には空港近く、緑の中の大きな墓地の一角を占める日本人墓地。入口には石材屋が軒を連ね、花売りのオバサン達も。かつてお盆休みに訪れたモスクワを、紅く彩っていたナナカマドが、ようやく紅く色づき始める。第二次大戦最末期、参戦したスターリンの指導するソ連軍に捕まり抑留され、過酷な労働と厳しい気候のため亡くなった約 3 百人の墓と、墓参団が建てた慰霊碑。二台のバスに分乗した 70 人のツアー客の中には手際よく花を求め、慰霊碑に手向ける者も。中には最近亡くなった方々の新しい墓も。厳しい状況を乗り越えながら、敢えて故国に帰らず、この地で生を全うした同胞も少なくなかったのだ。

ソ連崩壊後、レーニン死後のソ連共産党を率いた独裁者スターリンの像が、首に縄をかけ引き倒された記憶が鮮明に残るが、ウラジオストクにもハバロフスクにも未だにレーニンの像が建ち、レーニン通りがある。ウラジオストク駅前広場には、左手をポケットに入れ右手で斜め 45 度の方角を指し演説する、レーニンの銅像。1917 年、ケレンスキー臨時政権を倒した左派ボルシェビキ革命が高揚する中で、スイス亡命中のレーニンが封印列車でドイツ経由帰国、圧倒的な革命の隊列を前に演説する姿だ。

皇帝による圧政と経済破綻、第一次大戦の惨状にロシアの民衆が社会主義革命を選択した時、帝国主義列強は反革命干渉戦争を仕掛け、日本もシベリアに軍を進める。四面楚歌の状況を打破するため、レーニンは非常手段として戦時計画経済体制（NEP）を敷く。志半ばで倒れたレーニンの跡を、共産党の激しい党内闘争を経て継いだのが、スターリン。政敵を次々と粛清、恐怖の独裁体制を築き、レーニンが緊急避難として採用した NEP と「一国社会主義」を恒久化。そのため一般的には社会主義=独裁政治+計画経済と思われがちだが、シベリアで今尚レーニンが健在なのは、独裁政治や計画経済とは無縁な、マルクスが説いた「能力に応じて働き、必要に応じて取る」、「労働が悦びとなる」社会主義世界革命の可能性と、途上で倒れたレーニンの無念を思う故か？かつてのマルクス少年は思う。

ウラジオストクと違いボーデングブリッジもないハバロフスク空港。窓際の席を選ぶが、揺れるシベリア鉄道で良く眠れなかったか？雲の絨毯の上で目覚める。来る時と同じパンとケーキ、サラミ、チーズ、トマト、ピーマン、オリーブとリンゴジュースのランチボックス。国際線だがアルコールもなし。隣席の老夫婦と話が弾む。聞けばご主人は 4 才の時に父親がシベリアで亡くなり、顔を見たことがない。奥さんは昭和 19 年生まれという。会うことの叶わぬ父親と会うための旅だったのだ！時間距離は近いのに、心の距離が遠いシベリア、一番近いヨーロッパ。血と汗と涙のシベリアに別れを告げる。(完)

◎東大三鷹クラブ第 115 回定例懇談会のご案内

・「日本の防衛」一防衛大学校での体験から一

今回は、佐瀬昌盛防衛大学校名誉教授、(昭和 29 年入寮)に、日本の防衛に関する話題を論じて頂きます。佐瀬さんは、大阪住吉高校から東大入学と同時に三鷹寮に入り、最初は東寮でしたが、ほどなく西寮に移る好運に恵まれました。60 年経った今でもその頃の生活が懐しく思い出されるそうです。ただ毎日の三鷹台駅までのバス通学はやや不便で、高校の先輩が本郷に進学した後、井の頭公園近くの下宿を引き継ぎ、1 年半で寮を出ました。

佐瀬さんは文 I でしたが法学部、経済学部ではなく教養学科への道を選びました。更に大学院に進み、国際関係論を専攻、都合 8 年間の学校生活を駒場キャンパスで送りました。その当時、外国に留学する人は、まだ少ない頃でしたが、昭和 36 年、西ドイツからの奨学金を受け、ベルリンの自由大学に留学する機会を与えられました。しかし、旅費を工面することは容易ではなく、借金をしながら何とか英国船の最も安いクラスを利用して渡航することが出来ました。船旅の最中、ベルリンにウォール（壁）が築かれたというニュースが掲示され、船内に緊張が走ったそうです。ベルリンでの 3 年間、まさに東西の冷戦がホットな形で展開される場面を、現実に見聞きしたことは、何物にも代え難い貴重な体験で、そのことを通じて共産主義陣営の問題点をはっきり認識されたとのことでした。

帰国後の佐瀬さんを、左翼全盛の東大は受け容れてはくれませんでした。とりあえずは助手（月収 9,600 円）をやったあと、何とか成蹊大学に仕事を見つけました。成蹊では、講師から助教授へと順調に学究生活を過し、助教授時代には付属高校から大学に進学する若き日の安倍晋三氏（現首相）の面接官をつとめたこともありました。大きな転機は、防衛大学の猪木正道校長から教授就任を要請された際です。安住の地の成蹊を離れることで佐瀬家の生活設計にも影響、この時ばかりは奥様に意見を求めたそうです。奥様は、「女子学生の居ない職場なら」と、あっさり同意し、佐瀬さんは昭和 49 年防大に移りました。

当時は、自衛隊や防大を見る世間の目はまだ冷たく、佐瀬さんは所属する学会から会合の通知も送って来ないなど村八分のような扱を受けたそうです。そのような中、佐瀬さんは、変化する国際情勢の下での日本の防衛問題について、学究として地道な研鑽を重ね、今、話題の集団的自衛権に関しては、しばしば論文や著書等で研究成果を発表、知る人ぞ知る第一人者です。今回は、防大での四半世紀にわたる教授生活の体験を基にして、佐瀬さんしか出来ないお話が聞けると思います。集団的自衛権を含む防衛の基本問題についてプレゼンテーションはしませんが、出席者から具体的な質問があれば丁寧にお答えしたいとのことでした。中味の濃い議論が展開されることを期待します。 （平賀 記）

日時：平成 26 年 7 月 17 日（木） 18 時 30 分～21 時（開場 18 時）

場所：学士会館本館 203 号室（千代田区神田錦町 3-28 TEL 03-3292-5931）

会費：5000 円（会場費、夕食代・飲み物代、通信費など込み、別途二次会）

定員：60 名（先着順：定員を超えない限り特に連絡は致しません）

申込：干場 fax 03-5689-8192 tel 03-5689-8182 mail : tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

◎新しく墾く（結びにかえて）

6 月最初の金曜日、霞ヶ関の文科省の再開発ビル最上階、霞友会館で三鷹寮の一年上（S40 年入寮）と合同同期会。45 人ほど集まり、2 時間半ほど近況報告を交え、楽しく交流。盛り上がったところで寮歌新墾（ニイハリ）で締めるが、翌日のゴルフは大雨で中止。

総合大学の寮なので、文科 I 類入学の弁護士から、理科 III 類の医師まで、困った時の相談相手には事欠かない。又、政・官・学・財の各界で活躍、社会に貢献する人材も多く、は仕事の上でも御世話になりっ放しである。

この素敵なネットワークを、新生三鷹寮、三鷹国際学生宿舎 OB にも引き継ぎ、併せて、同窓会創設以来の懸案である、その輪を同窓生の子弟にまで広げ、出会いと交流の場ともする、その一步をようやく踏み出そうと思います。関係者のご協力をお願いします。（再見）